

2021（令和3）年度活動報告

1. 2021年度の社会情勢

2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大の動きがなかなか収まらなかったことはもちろんですが、それ以上に2022年2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻が世界中に大きな衝撃を与えました。3か月近く経過した現在も侵攻は続いており、市民への多くの被害も連日報道されています。国と国との関係は、個人感情のみならず、地理や歴史、経済などの様々なパワーバランスが複雑に絡み合っていてなかなか難しい面があるのですが、それでも権力や暴力、そして戦争という手段に至ることは決して許してはならないことです。戦争という異常事態時は、誰もが生きることのできる精一杯となり、人と人が助け合うことも簡単ではなくなってしまいます。私たちの日頃の生活、ろう運動も、平和な時代、平和な環境で生きているからこそできているということを忘れてはなりません。一刻も早い平和への復帰を願います。

改めて新型コロナウイルス感染拡大の動きをみると、日本では3月時点で第7波となる大きな波が来ており、宮崎県では一時750人以上の感染者が出て、その後も、人口比率で見ると全国でも高い感染状況が続いています。3回目のワクチン接種が行われている最中ですが、いつ終息に向かうのかどうか、全く見通しが立たない状況です。こういった状況が続く中、全日本ろうあ連盟、九州聴覚障害者団体連合会、県協会とも、昨年に続いて様々な行事、イベントを中止にせざるを得ませんでした。しかし、オンラインを活用した新しい開催方法を工夫したり、感染対策を十分に行って開催したりした事例もいくつかありました。こういったオンラインによる開催、または実際に集まっての方法と併用したハイブリッド形式による開催は今後も行われていくことになるでしょう。

2. 全国的な運動

（1）新型コロナウイルス感染症対策について

全国の新型コロナウイルス感染者は4月18日現在で740万人を超えています。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が何回も出された影響で、自粛に従わない動きも目立ってきています。3回目の新型コロナワクチン接種が始まっていますが、新型コロナウイルスの変異も起きており、終息に向かうにはまだ時間がかかりそうです。

全国の都道府県知事会見に手話通訳が付いていますが、テレビ放送では手話通訳者が映らないという問題は1年たっても変わることなく続いています。字幕付与も実現していません。現在、国会で「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法案」が審議されており、成立が見込まれていますので、この法案が現状打破のきっかけとなることが期待されます。全日本ろうあ連盟等と連携して、障害のある

なし関係なく、誰もがいつでもどこでも同様に、必要な情報を得ることができる社会の実現を目指して活動に取り組んでいきます。

(2) 「手話言語法」「情報コミュニケーション法」制定に向けての動き

今年4月12日に「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法案」が参議院厚生労働委員会に提出され、全会一致で可決されました。

全日本ろうあ連盟や私たちが長年求めてきた「手話言語法」「情報コミュニケーション法」のうち「情報・コミュニケーション」の分野に関する法律の制定実現が目の前に来ています。情報保障やそれに関わる支援に向けた取り組みについては、手話等の普及及び利用促進に関する条例においては努めるものとして記述されていますが、この法律において、どこまでの範囲が国や都道府県、市町村や事業者の責務として規定されることになるのか、続報を待ちたいと思います。

「手話言語法」については大きな動きはなく、本県内の手話言語条例に対する取り組みも新たな情報はありません。新型コロナ禍でなかなか難しい面もありますが、ろう者の方々が手話言語で学び、手話言語で日常生活を送ることができる環境の実現につながるよう継続して取り組んでいきます。

3. 県内の主な出来事

(1) 宮崎県内の新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

4月19日現在、宮崎県では481名の感染者が確認されています。新型コロナ感染者は、これまではピークを迎えた後、一旦ゼロベースが続く傾向が続いていましたが、第6波に続いて第7波の感染者がこれまでにない勢いで増えました。現時点では緊急事態宣言、まん延防止等重点措置は出されていませんが、感染に十分注意していく必要があります。

また、発熱による新型コロナ感染の疑いで遠隔手話サービスの利用につながった事例が2件ありました。手話通訳の依頼があった時点で発熱があることが確認できたため、事前に病院に職員がタブレットを持参して利用方法を説明しました。その後、県センターのオペレーターパソコンとタブレットをオンラインでつなぎ、手話通訳を行いました。医師の説明とろう者の話のタイミングが重なったり、手話が見やすいようにタブレットの画面角度を調整する必要があったりする課題がいくつかありましたが、基本的にスムーズに対応ができ、病院からも、安心して対応できたと感想がありました。幸い、2件とも新型コロナではなく、一安心の結果となりました。

ただ、これはいずれも県センターの近くにお住まいの方のため、すぐに対応できた事例です。特に県北地域では県センターから持参するには時間がかかり、かといって地元では、昼間にすぐにタブレットを病院に持参できる人材が限られているという状況があります。早急に県や市町村と協議して具体的な活用方法を決定し、聴覚障害者や関係者の方々に啓発していかなければなりません。また、実際に利用する必要が出てきたときにスムーズに活用できるよう、医療機関等と連携して、各地区協会におい

て利用体験会、説明会を行っていきます。

県知事会見の手話通訳付与については、テレビ局各局が実施しているインターネット配信では手話通訳者が画面から見切れてしまう課題が、1年以上経過してもそのままとなっています。テレビ局への要望では財政面と人材面（ワイプを入れるためには、そのためのテレビカメラとカメラマンが必要）が課題との回答が続いていますが、1台のテレビカメラであっても県知事と手話通訳者を同時に画面に映す方法など、工夫の余地はまだあると考えます。前述の「情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法案」も一つの手がかりとして、難聴者、中途失聴者を対象とした字幕の導入と合わせて引き続き要望を行っていきます。

4. 県協会の取組み

（1）オンラインソフトによる様々な取組みを実施

2021年度も新型コロナウイルスの感染拡大は続き、人が多く集まる行事は昨年が続いて中止にしなければならない状況でした。一方で、オンラインソフト「Zoom」を導入したことで、オンライン会議やオンライン研修会を積極的に開催することができました。全国・九州でもオンラインの活用がさらに多くなり、オンラインソフトの利用に慣れることがますます重要になります。オンラインソフトの利用に関する学習会・研修会を検討していきたいと思います。

ただ、全ての方々がスマートフォンやタブレット等の操作に慣れているわけではありませんし、経済的事情等で所有が困難な方々もおられます。そういった方々が取り残されてしまうことがないよう、各地区でのデジタル活用説明会などの方法も合わせて検討していきます。

（2）新型コロナウイルス感染症関連の取組み

2021年11月23日（火・祝）に県立聴覚障害者センター、日向市障がい者センター「あいとぴあ」、延岡市社会福祉センターの3会場をオンラインでつないだ遠隔手話サービス体験会、映画「記記録憶」上映会を行い、約70人に参加いただきました。タブレットを活用した遠隔手話サービス体験会、Zoomを活用した各会場同士の交流会を体験していただき、オンラインの雰囲気に触れていただきました。

2022年2月24日（木）には高千穂、延岡のろう者、手話関係者の皆さんに参加いただいて、タブレットをとおして県立聴覚障害者センターの遠隔手話サービスパソコンとつないで、オンラインによる手話通訳を体験いただきました。

遠隔手話サービスは、現在は新型コロナ関連に限られていることもあって正式な利用がない状況が続いていましたが、4月に入って利用が2件ありました。内容、課題については先述したとおりです。引き続き普及啓発に取り組み、災害時などの緊急時にスムーズに活用できるよう取り組んでいきます。

5. 課題事項について

2021年度は、県協会及びセンターをどのように運営していくのか、会員の皆さんはもちろん、様々な課題を抱える県内聴覚障害者をどのように支援していくのか、私たちの活動の根幹となる大きな課題に取り組みました。

まず、県協会定款において『多様な福祉サービスが利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫する』ことで、利用者が『個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を社会的に営むことができるよう支援する』ことを目的として定めた私たちの活動の原点に立ち返ることを目指し、様々な協議を重ねてきました。その結果、新たなろう職員を採用して聴覚障害者への相談支援を強化すると共に、県内聴覚障害者及び関係者の皆さんに対してより柔軟な支援を行っていくための「宮崎県聴覚障がい者生活サポート事業」を開始したところです。

また、2023年9月に宮崎県で開催される全九州ろうあ者大会において、都城市聴覚障害者協会の皆さんの協力を得て、都城市を開催地とし、実行委員会への参加などのご協力をいただくことになりました。

いずれも活動はまだ始まったばかりであり、大切なのはこれからです。県内すべての地区協会や会員の皆さん、関係者の皆さんと力を合わせていくことが大切ですし、県内聴覚障害者の皆さんの生活情報支援を行っていくために、引き続き活動の充実に取り組んでいきます。

6. 各専門部事業

2021年度における各専門部事業、県立聴覚障害者センター事業の詳細は後続の報告書のとおりですので、ご検討と意見をお願いします。

2021（令和3）年度 社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会 事業報告

総務部

（1）関連組織との連携

全日本ろうあ連盟、九州聴覚障害者団体連合会、各地区協会、各専門部の事業の連絡調整

（2）各種大会及び研修会参加の推進（主な事業）

- ・第69回全国ろうあ者大会
日 程：2021年6月10日～13日
会 場：栃木県宇都宮市
※新型コロナウイルス感染予防のため、大会を中止決定。
- ・第70回全九州ろうあ者大会・第49回全九州手話通訳者研修会
日 程：2021年9月10日～12日
会 場：鹿児島県鹿児島市
※新型コロナウイルス感染予防のため、大会を延期決定。
（第70回という節目の大会であることを踏まえたもの）

（3）全国手話研修センター後援会加入の推進

- ・宮崎県は会員2名（目標100名）
※ 情報啓発、案内をまず行っていく。

（4）県協会拡大専門部長オンライン会議の開催

- ・県協会拡大専門部長オンライン会議を毎月1回開催。

組織部

1、2017年度～2021年度までの県協会会員状況

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
208名	193名	185名	117名	105名

（昨年度と比べると12名減）

- ・コロナ禍、高齢化などで会員減少の傾向が続いている。各地区協会、一般会員との意見交換などを積極的に行い、活動への理解普及を働きかけていく。

2、日聴紙購読状況

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
150名	169名	171名	158名	96名

- ・コロナ禍で2020年度奉仕員養成受講生が年度をまたいで学習された地域があった影響で2021年度は通訳Ⅰの受講生が少なくなり、講習会受講生の購読者が急減した。2022年度はある程度購読人数が増えると思われる。
- ・ろう者の購読者が少ないため、役員及び会員の購読者を働きかけていく。

3、年間三大大行事開催

第70回九州ろうあ者大会と第69回全国ろうあ者大会は、新型コロナウイルス感染流行のため、中止決定。令和3年度九州ブロック幹部研修会はオンラインで開催され、6名が県立聴覚障害者センターから参加。

4、映画「咲む」上映会活動の推進

- 宮崎市、都城市、木城町（児湯地域）で計4回上映会を実施。
- 日向市、県立聴覚障害者センターでも計画したが、新型コロナ感染拡大で延期。延岡地域での開催支援も含めて、2022年度中の実施に向けて努力していく。

体育部

1. 実施した事業

(1) 第58回全九州ろうあ者スポーツ大会

日程 : 2021年5月8日～9日

開催地 : 熊本県山鹿市

コロナウイルス影響により開催中止

(2) 第55回全国ろうあ者体育大会

日程 : 2021年9月16日～19日

開催地 : 兵庫県

コロナウイルス影響により開催中止

(3) 2021年度九聴連体育委員会会議出席

2. 成果と課題

全九州ろうあ者スポーツ大会、全国ろうあ者体育大会は昨年度に続き、コロナウイルス影響により開催中止となり、無念の形となった。

参加予定者からはコロナウイルス対策、感染防止をしっかりとした上で来年度こそは開催してほしいという声があり、様々な方法等で工夫して開催できるよう協議を積み重ねていきたい。デフスポーツ団体と話し合いを行い、様々な声を拾うことができ、方向性等がある程度見えて第一歩進められたことが良かった。

やりたくても人数が少なく、練習ができない環境、人数が揃えず、大会に参加できない等、デフスポーツ人口が乏しく、情報発信が無い等の影響も考えられる事から、各デフスポーツ団体を団結し、普及、発展活動を進めていくこととした。

教育対策部

1. 実施した事業

• 全日本ろうあ連盟「きこえない・きこえにくいお子さんを持つママ・パパへ」パンフレットを会員、医師会、延岡しろやま支援学校、都城さくら聴覚支援学校に連盟と協働して配布を行った。

2. 成果と課題

新型コロナウイルス感染拡大のため、十分な活動ができていない。延岡しろやま支援学校、都城さくら聴覚支援学校と連携し、様々な情報配信を行っていくと共に、教育対策部の活動のあり方について検討が必要である。

手話通訳対策部

実施した事業

- ① 手話通訳者の養成
 - ・ 県内登録手話通訳者の増加に向けた取り組みの検討
- ② 手話奉仕員・手話通訳者養成講座事業に係る講師の養成
 - ・ 全国や九州の講師研修会等への参加奨励、県内講習会の実施
- ③ 各種研修会への参加奨励の取り組み
 - ・ 第54回全国手話通訳問題研究集会 8月20日～22日 山形県（オンライン）
 - ・ 第49回全九州手話通訳者研修会 9月11日 鹿児島県（延期）
 - ・ 九州ブロック現任手話通訳者研修会 中止
 - ・ 九州ブロック手話指導講師養成研修会 10月31日 福岡県（オンライン）

福祉労働対策部

1. 実施した事業

1) 宮崎県に要望書を提出しました。

・ 日頃から手話言語通訳等の様々な情報保障がついているのが当たり前前の環境を整えていなければ災害時などの緊急時に対応できるとは考えられないこと、年を取ると誰もが情報・コミュニケーション面で障害が出てくることを訴え、手話言語法、情報・コミュニケーション法の早期制定を訴えました。

・ 遠隔手話サービスの啓発、県知事会見などの県からの情報配信においてテレビ放送では手話通訳者が映らないこと、字幕が付かないことなどの課題解決、通訳者の人材が高齢化しており、日中でも若い通訳者が活動できる環境の整備などを要望しました。

2) オンラインによる福祉労働担当者会議に出席しました。

日 時：2021年11月20日（土） 18:00～20:00

会 場：県立聴覚障害者センターからオンライン参加

【議題】

- 1) 2021年度の重点取り組みについて（中央交渉、障害者差別解消法など）
- 2) 情報交換（加盟団体の活動状況、ハローワークにおける遠隔手話通訳など）

2. 成果と課題

県知事会見における情報配信に字幕を導入すること、リアルタイム配信について県と協議、意見交換を重ねています。ただ、テレビ放送面での対応については要望を出していますが、なかなか成果に結びついていません。今年4月「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法案」が国会で成立する見通しとなりました。法制面、財政面で必要な措置を行うことが政府の義務となりますので、課題解決の一助となることを期待し、引き続き働きかけを行っていきます。

高齢部

新型コロナウイルス感染対策のため会員が集まるのが難しく、事実上休部状況にある。

女性部

休部中。

復活に向けて、会員・非会員への県協会及び女性部の活動啓発を行っていく。

青年部

休部中。

復活に向けて、若い世代の会員・非会員への県協会及び青年部の活動啓発を行っていく。

令和3年度県立聴覚障害者センター実績報告書

(1) 研修室・試写室・交流ホール・談話コーナーの利用状況

利用者数 2099人 (前年度同月比 87.3%)

- ①研修室 818人 (前年度同月比 125.7%)
- ②試写室 395人 (前年度同月比 71.6%)
- ③交流ホール 778人 (前年度同月比 73.4%)
- ④談話コーナー 108人 (前年度同月比 77.7%)

※談話コーナーの利用については、利用申請を必要としていなく、大体の利用者数を把握するために任意記入の利用簿を備えて利用者の把握に努めています。ただ、キチンと記入する人もいれば無記入の利用者もいるので、上記の数字が利用者総数を正確に表わしているものではありません。

(月別利用実績)

	研修室	試写室	交流ホール	談話コーナー	合計	前年度実績	前年度比較
4月	68	58	66	21	213	70	304.3%
5月	0	0	0	8	8	24	33.3%
6月	79	42	97	8	226	149	151.7%
7月	77	48	42	14	181	227	79.7%
8月	14	24	0	13	51	156	32.7%
9月	29	1	0	4	34	259	13.1%
10月	257	47	187	12	503	284	178.9%
11月	86	72	142	10	310	345	89.9%
12月	84	38	96	1	219	218	100.5%
1月	50	27	46	7	130	25	520.0%
2月	23	11	37	3	74	327	22.6%
3月	51	27	65	7	150	319	47.0%
合計	818	395	778	108	2099	2403	87.3%

(曜日別利用実績)

	研修室	試写室	交流ホール	談話コーナー	合計
日	172	47	277	10	506
月	93	205	11	11	320
火	185	67	62	18	332
水	4	0	0	0	4
木	133	18	13	12	176
金	20	14	21	16	71
土	211	44	394	41	690
合計	818	395	778	108	2099

【研修室・試写室・交流ホール・談話コーナーの利用状況 2019年度～2021年度比較】

	研修室						試写室						交流ホール						談話コーナー						合計					
	2021年度	2020年度比	2019年度比	2020年度	2019年度比	2019年度	2021年度	2020年度比	2019年度比	2020年度	2019年度比	2019年度	2021年度	2020年度比	2019年度比	2020年度	2019年度比	2019年度	2021年度	2020年度比	2019年度比	2020年度	2019年度比	2019年度	2021年度	2020年度比	2019年度比	2020年度	2019年度比	2019年度
4月	68	154.5%	30.8%	44	19.9%	221	58	322.2%	92.1%	18	28.6%	63	66		94.3%	0	0.0%	70	21	262.5%	420.0%	8	160.0%	5	213	304.3%	59.3%	70	19.5%	359
5月	0	0.0%	0.0%	8	10.5%	76	0	0.0%	0.0%	2	1.6%	122	0		0.0%	0	0.0%	215	8	57.1%	88.9%	14	155.6%	9	8	33.3%	1.9%	24	5.7%	422
6月	79	158.0%	69.9%	50	44.2%	113	42	65.6%	26.8%	64	40.8%	157	97	606.3%	31.8%	16	5.2%	305	8	42.1%	88.9%	19	211.1%	9	226	151.7%	38.7%	149	25.5%	584
7月	77	76.2%	57.9%	101	75.9%	133	48	70.6%	39.7%	68	56.2%	121	42	80.8%	15.9%	52	19.7%	264	14	233.3%	93.3%	6	40.0%	15	181	79.7%	34.0%	227	42.6%	533
8月	14	100.0%	9.1%	14	9.1%	154	24	75.0%	24.7%	32	33.0%	97	0	0.0%	0.0%	96	36.1%	266	13	92.9%	144.4%	14	155.6%	9	51	32.7%	9.7%	156	29.7%	526
9月	29	152.6%	16.8%	19	11.0%	173	1	1.8%	0.9%	57	52.8%	108	0	0.0%	0.0%	170	66.9%	254	4	30.8%	11.4%	13	37.1%	35	34	13.1%	6.0%	259	45.4%	570
10月	257	372.5%	178.5%	69	47.9%	144	47	74.6%	39.5%	63	52.9%	119	187	124.7%	50.0%	150	40.1%	374	12	600.0%	100.0%	2	16.7%	12	503	177.1%	77.5%	284	43.8%	649
11月	86	85.1%	41.7%	101	49.0%	206	72	120.0%	59.0%	60	49.2%	122	142	80.2%	95.3%	177	118.8%	149	10	142.9%	83.3%	7	58.3%	12	310	89.9%	63.4%	345	70.6%	489
12月	84	118.3%	42.0%	71	35.5%	200	38	105.6%	28.4%	36	26.9%	134	96	89.7%	80.7%	107	89.9%	119	1	25.0%	10.0%	4	40.0%	10	219	100.5%	47.3%	218	47.1%	463
1月	50	555.6%	20.3%	9	3.7%	246	27	540.0%	43.5%	5	8.1%	62	46	920.0%	328.6%	5	35.7%	14	7	116.7%	29.2%	6	25.0%	24	130	520.0%	37.6%	25	7.2%	346
2月	23	25.0%	15.0%	92	60.1%	153	11	17.7%	8.7%	62	49.2%	126	37	23.1%	12.5%	160	54.1%	296	3	23.1%	9.1%	13	39.4%	33	74	22.6%	12.2%	327	53.8%	608
3月	51	69.9%	170.0%	73	243.3%	30	27	31.8%	158.8%	85	500.0%	17	65	50.8%		128		0	7	21.2%	175.0%	33	825.0%	4	150	47.0%	294.1%	319	625.5%	51
合計	818	125.7%	44.2%	651	35.2%	1,849	395	71.6%	31.7%	552	44.2%	1,248	778	73.3%	33.4%	1,061	45.6%	2,326	108	77.7%	61.0%	139	78.5%	177	2,099	87.3%	37.5%	2,403	42.9%	5,600

(使用目的別実績)

	研修室	試写室	交流ホール	談話コーナー	合計
手話養成	395	6	171	0	572
要約養成	83	29	225	0	337
通訳者等への研修	16	17	114	0	147
手話自主学习	0	175	11	4	190
要約自主学习	196	6	34	0	236
聴覚障害者	10	11	82	0	103
その他	118	151	141	104	514
合計	818	395	778	108	2099

※リモートによる会議や研修等で自宅等からの参加者数は含まれていません。

(2) センターへの来訪者数 1383人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来訪者数(人)	12 1	95	14 6	13 6	10 0	13 5	146	106	120	80	94	10 4	1383

※相談、打合せ、報告書提出、書籍等購入等の来所がありました。

(3) センター機器等貸出状況

機器名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
OHC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
OHC台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクター	0	0	1	2	0	1	1	5	0	1	0	2	13
接続ケーブル	2	0	0	4	0	2	2	8	0	0	0	2	20
スクリーン	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
補聴器	9	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	10
携帯磁気ループ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
延長コード	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HUB	0	0	2	4	0	2	2	0	0	0	0	2	12
LANケーブル	8	0	7	17	0	9	8	0	0	0	0	0	49
貸出用パソコン	0	0	2	4	0	1	2	2	0	0	0	0	11
コミュニケーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	19	0	12	31	0	15	15	16	2	1	0	5	125

(2) 聴覚障がい者用DVD等の作製

No.	題名	時間	備考
1	国文祭・芸文祭閉会式に手話挿入の打合せと表現練習		
2	全国手話通訳者統一試験の採点用DVDの作製	99分	
3	県知事CMに手話挿入(担当者の手話表現練習)		
4	要約筆記養成用音声原稿の録音		
5	通訳者養成講師研修会DVDの作製	237分	
6	自主制作作品のダビング18本		
7	宮崎市長CMに手話挿入(担当者の手話表現練習)		
	合計	336分	

(3) 12月に採用した聴覚障がい者職員を中心に、試行的に動画配信を行った。内容は、新型コロナに関する内容で手話によるもので、配信方法は個人利用のLINEによるものでした。地域協会役員等を通じて多くの聴覚障害者や手話関係者が共有できた。

配信回数は、38回期間2月1日~3月29日 動画時間40秒~5分/1回

2. センターの維持及び保全に関する業務

年度を通じて下記の対応を行いました。

- (1) 県立聴覚障害者センターの安全衛生管理表をもとに各部屋の担当者ごとに①建物・備品等②消防設備③電気設備④整理整頓・衛生維持の点検を行いました。
- (2) 毎朝業務確認のための朝礼を行うとともに月曜日に1週間の業務及びセンターの安全の確認のための朝礼を行いました。
- (3) 新型コロナウイルス感染予防のため、消毒液を廊下及び各部屋に設置しています。
- (4) 3密を避けるため、換気に心がけています。
- (5) 研修室と試写室の定員を半分の12名として利用いただいています。
- (6) 職員はマスクを着用し、毎朝検温の実施、ドア・机等の消毒を行っています。
- (7) 飛沫感染防止パーテーションを設置し、派遣受付や職員間の感染防止対策を図っています。

(その他)

- 4月21日に派遣用電話機及びFAX機の移設と電話機の増設工事を行いました。
- 1月19日に「まん延防止等重点措置」の宮崎県への適用が決定されました。それに伴い1月21日から宮崎市が1月21日(金曜日)～2月13日(日曜日)の期間「重点措置区域」に指定されたことにより当センターの利用制限を同期間行うこととしました。
- 1月22日1:08に日向灘を震源とする地震による被害状況を地域協会役員を通じてLINEによる確認を行いました。⇒被害は確認されませんでした。
- 2月9日に外部委託業者による事務所等のワックスがけを行いました。
- 2月22日に生活情報センター、県立聴覚障害者センター、県立視覚障害者センターによる消火訓練、避難訓練を行いました。

3. 県立聴覚障害者センターにおける聴覚障がい者に関する啓発事業の企画運營業務

(1) 映画「記記録憶」上映会

上映会 10月15日(金)～17(日)

会場 宮崎県立美術館1階アートシアター

来場者 166名

(2) NHK 宮崎放送局の「国文祭、芸文際開会式ダイジェスト」手話通訳導入

- ① 和歌山県開催の国文祭、芸文際と本県開催の国文祭、芸文際開会式ダイジェスト版への手話通訳導入の協力を行いました。

撮影場所:メディキット県民文化センター、NHK 宮崎放送局

※11月23日(火・勤労感謝の日)10:05-11:05 放送

(3) 遠隔手話サービス体験会・映画「記記録憶」上映会実施

本県聴覚障がい者の暮らしやすい社会づくりを目指し標記体験会及び上映会を実施しました。

① 期日

令和3年11月23日(火・勤労感謝の日)

② 会場

- (1) 延岡市社会福祉センター
- (2) 日向市「あいとぴあ」
- (3) 県立聴覚障害者センター

③ 参加状況

	体験会						映画上映会					
	延岡会場		日向会場		宮崎会場		延岡会場		日向会場		宮崎会場	
	ろう者	聴者	ろう者	聴者	ろう者	聴者	ろう者	聴者	ろう者	聴者	ろう者	聴者
	5名	8名	2名	14名	17名	27名	5名	8名	2名	14名	17名	21名
合計	13名		16名		44名		13名		16名		38名	

(4) 遠隔手話サービス実践

① 実施地及び参加者:

- 1) 高千穂町(聴覚障がい者1名、役場職員4名、高千穂手話サークル8名、報道機関1名、県協会3名)
- 2) 延岡市(聴覚障がい者4名、手話サークル1名、県協会3名)

4. 聴覚障害者用字幕(手話)入りビデオカセットテープ・DVDの製作に関する業務

(1) 聴覚障がい者用字幕(手話)入りDVD等の貸出に関する業務

① 貸出利用者数 32人

② 貸出本数 154本

③ 月別貸出利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
センター	利用者	5	7	2	5	1	3	3	3	2	0	1	0	32
	本数	25	35	5	16	3	10	13	27	13	0	7	0	154

④ 県立聴覚障害者センター貸出利用状況

		分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	ろう者	5	0	0	1	0	2	2	0	1	0	0	0	0	11
	聴者	0	6	2	4	1	1	1	3	1	0	1	0	0	20
	団体	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	合計	5	7	2	5	1	3	3	3	3	2	0	1	0	32
貸出本数	ろう者	25	0	0	5	0	9	11	0	3	0	0	0	0	53
	聴者	0	34	5	11	3	1	2	27	10	0	7	0	0	100
	団体	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	合計	25	35	5	16	3	10	13	27	13	0	7	0	0	154

⑤ 新作ビデオ(DVD)の陳列

・ビデオライブラリー共同事業より番組作品等37盤面

【聴覚障がい者用字幕(手話)入りDVD等の貸出 2019年度～2021年度比較】

	利用者						本数					
	2021年度	2020年度比	2019年度比	2020年度	2019年度比	2019年度	2021年度	2020年度比	2019年度比	2020年度	2019年度比	2019年度
4月	5		18.5%	0	0.0%	5	25	18.5%	92.6%	0		27
5月	7		25.9%	0	0.0%	11	35	40.7%	129.6%	0		27
6月	2		3.6%	0	0.0%	15	5	27.3%	9.1%	0		55
7月	5	125.0%	62.5%	4	200.0%	2	16	25.0%	200.0%	21	262.5%	8
8月	1	20.0%	6.3%	5	250.0%	2	3	12.5%	18.8%	8	50.0%	16
9月	3	42.9%	10.7%	7	116.7%	6	10	21.4%	35.7%	23	82.1%	28
10月	3	150.0%	16.7%	2	66.7%	3	13	16.7%	72.2%	9	50.0%	18
11月	3	21.4%	9.4%	14	280.0%	5	27	15.6%	84.4%	67	209.4%	32
12月	2	25.0%	16.7%	8	266.7%	3	13	25.0%	108.3%	34	283.3%	12
1月	0	0.0%	0.0%	3	150.0%	2	0	25.0%	0.0%	13	162.5%	8
2月	1		14.3%	0	0.0%	2	7	28.6%	100.0%	0		7
3月	0	0.0%		1		0	0			1		0
合計	32	72.7%	13.4%	44	78.6%	56	154	23.5%	64.7%	176	73.9%	238

(2) 聴覚障がい者用DVD等の作製

- ① 番組等に手話をつけるための打合せや練習を行った(盛田弘氏・山本職員)
- ② 12月に採用した聴覚障がい者職員を中心に、試行的に動画配信を行った。内容は、新型コロナに関する内容で手話によるもので、配信方法は個人利用のLINEによるものでした。地域協会役員等を通じて多くの聴覚障害者や手話関係者が共有できた。
配信回数は、38回期間 2月1日～3月29日 動画時間 40秒～5分/1回
- ③ 通訳者養成講師研修会 zoom 画面収録・編集
 - ・手話通訳Ⅰテキストの指導法と指導書の活用方法 74分
 - ・手話通訳Ⅱテキストの指導法と指導書の活用方法 65分
 - ・手話通訳Ⅲテキストの指導法と指導書の活用方法 44分
 - ・質疑応答と意見交換 54分
- ④ 自主制作 DVD のダビング 18本

5. 手話奉仕員、要約筆記奉仕員等の育成及び派遣に関する業務

【手話通訳者等養成】

県立聴覚障害者センターにおいて養成カリキュラムに沿った講座を実施しました。

- 手話奉仕員養成(入門課程、基礎課程)
修了者 4名
- 手話通訳者養成(通訳Ⅱ)
修了者 3名
- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策により長期間休講となった講座受講生のための復習講座を実施しました。

- 手話体験会

継続的な手話講習会が実施できない市町村に対し体験会を実施しました。

	地域	実施日	参加人数	備考
1	串間市	1月28日	20名	金谷小学校3・4年生5・6年生
		2月21日	16名	
2	諸塚村	3月28日	17名	児童(5歳～11歳)13名、社協スタッフ
3	都農町	3月16日	9名	役場職員

【要約筆記者養成】

養成カリキュラムに沿った講座を実施しました。

- 要約筆記者養成講座
要約筆記者養成カリキュラムに沿った講座を実施しました。
- 日向会場(手書きコースを実施:前期):日向市障がい者センターあいとびあ
令和3年10月～令和4年3月 手書きコース 7名
- 宮崎会場(手書きコース、パソコンコース:後期):県立聴覚障害者センター
令和3年4月～令和4年1月 手書きコース 7名 パソコンコース 4名

【各種研修会】

- 要約筆記者講師研修会
8月8日(日)
- 要約筆記者ステップアップ研修会
11月27日(土)、11月28日(日)、令和4年3月12日(土)、令和4年3月13日(日)

【要約筆記体験会】

期日 令和3年10月10日(日)
会場 日向市障がい者センターあいとびあ
参加者 手書き 8名

【全国統一要約筆記者認定試験対策学習会】

表記試験対策として下記の学習会を実施しました。

会場 県立聴覚障害者センター

第1回

期日 令和4年1月23日(日) 参加者 PC 2名

第2回

期日 令和4年1月30日(日) 参加者 手書き 5名 PC 4名

第3回

期日 令和4年2月13日(日) 参加者 手書き 6名 PC 4名

【全国統一要約筆記者認定試験】

期日 令和4年2月20日(日)

会場 県立聴覚障害者センター

受験者 手書き:7名 パソコン:4名

合格者 手書き:4名 パソコン:0名

■ 要約筆記者指導者養成研修会

「令和3年度要約筆記者指導者養成研修ステップアップコース」に県内の要約筆記者1名が基礎コースに、2名がスキルアップ研修にリモートで参加し、要約筆記者養成の目的や指導方法を学びました。

6. 聴覚障害者に対する相談業務（今月の相談件数20件）

相談種別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	職業	1	0	1	3	0	0	1	1	0	3	1	0	11
2	医療	2	0	4	1	1	3	2	4	2	1	0	1	21
3	年金	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
4	教育	0	0	1	0	0	1	1	0	1	11	5	0	20
5	住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	生活	1	3	3	4	1	5	0	1	2	4	9	5	38
7	人間関係	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2	2	0	8
8	保育・育児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	情報・コミュニケーション	2	1	0	6	4	1	5	2	2	11	8	7	49
10	交通事故等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	手話通訳者派遣	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	2	2	10
12	要約筆記者派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
13	法律	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
14	手続き	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	4
15	その他	3	5	0	1	0	0	1	0	0	3	4	3	20
計		9	12	11	16	6	10	15	8	9	39	31	20	186

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
経路	来所	2	7	2	9	3	6	8	4	3	23	17	11	95
	FAX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	TEL	4	5	4	4	2	1	4	0	3	8	8	2	45
	家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	3	0	5	3	1	3	3	4	3	8	6	7	46
計		9	12	11	16	6	10	15	8	9	39	31	20	186

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
聴覚障害者		5	8	7	7	3	8	6	7	4	30	21	18	124
健聴者		4	4	4	9	3	2	9	1	5	9	10	2	62
計		9	12	11	16	6	10	15	8	9	39	31	20	186

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
性別	男	7	3	9	7	3	7	10	5	5	26	15	9	106
	女	2	9	2	9	3	3	5	3	4	13	16	11	80
計		9	12	11	16	6	10	15	8	9	39	31	20	186

【相談実績比較 2019年度～2021年度】

	2021年度				2020年度			2019年度
	実績	2020年度比	前年度比増減	2019年度比	実績	前年度比	前年度比増減	実績
職業	11	157.1%	4		7		7	0
医療	21	131.3%	5	110.5%	16	84.2%	△ 3	19
年金	1	100.0%	0		1		1	0
教育	20	250.0%	12	2000.0%	8	800.0%	7	1
住宅	0		△ 3	0.0%	3	60.0%	△ 2	5
生活	38	223.5%	21	165.2%	17	73.9%	△ 6	23
人間関係	8	72.7%	△ 3	133.3%	11	183.3%	5	6
保育・育児	0		0		0		0	0
情報・コミュニケーション	49	326.7%	34	980.0%	15	300.0%	10	5
交通事故等	0		0		0		0	0
手話通訳者派遣	10		10		0		0	0
要約筆記者派遣	1		1		0		0	0
法律	3	13.6%	△ 19	150.0%	22	1100.0%	20	2
手続き	4	40.0%	△ 6	44.4%	10	111.1%	1	9
その他	20	181.8%	9	166.7%	11	91.7%	△ 1	12
	186	153.7%	65	226.8%	121	147.6%	39	82

7. 聴覚障害者に対する手話講習、技術訓練その他の教養講習の実施に関する業務

手話を知らない難聴者・中途失聴者が、手話技術を習得することによって新たにコミュニケーションの手段を獲得し、社会参加を行えるよう支援することを目的に難聴者向けの手話講座を実施しました。

日程 火曜日 14:00～15:30 土曜日 10:30～12:00

令和3年11月13日～令和4年3月15日

会場 県立聴覚障害者センター

※8月開講予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために延期しました。

途中、1月～3月は休講しました。講座にパソコン要約筆記の協力をいただきました。

【難聴者向け手話講習会実績】

月	11月	12月	1月	3月	合計
難聴者	7	7	3	2	19
PC要約筆記	4	4	2	2	12
計	11	11	5	4	31

8. その他知事が必要と認める業務

(1) ホームページ等の運用

ホームページアドレス <http://msen.sakura.ne.jp/index.html> 2001年8月22日開設

・ホームページアクセス数 3382件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
カウント	261	265	263	296	249	218	350	288	266	288	274	364	3382

・更新件数 46

・主な更新内容

○手話や要約筆記関係の研修会の案内 ○センター利用状況 ○センターだより

○字幕付き映画情報の紹介 ○新着ビデオ情報(ビデオライブラリー)

・ホームページプラン変更作業

宮崎県委託事業 聴覚障がい者等福祉推進事業実績報告

1 手話奉仕員等養成・指導者研修事業

1. 目的

手話奉仕員等養成事業実施要綱に基づき下記の内容で手話奉仕員及び手話通訳者、手話通訳士の養成講座を実施し、聴覚障がい者等の福祉の増進に資することを目的とし実施しました。

2. 手話奉仕員養成講座

(1) 実施会場（22 ページ別表1 参照）

県内の手話奉仕員養成のため、別表1の地域において講座を実施しました。新型コロナウイルス感染防止対策により休講を余儀なくされ、年度内に修了に必要な講座実施ができず修了者がいない会場、次年度に持ち越した会場が出ました。

(2) 使用教材

『新手話教室入門』と『手話教室基礎』の内容が1冊に盛り込まれた厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応の「手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう」をテキストとして使用し実施しました。

(3) 養成時間 70 時間

実技編 入門課程（27 時間）基礎課程（33 時間）講義編（10 時間）

(4) 養成講師研修会・指導者養成研修会報告会

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から研修会を中止しました。

(5) 手話体験会

手話講習会を実施できない市町村において下記の地域で手話の体験会を開き手話の普及に努めました。

【手話体験会実績一覧表】

	地 域	実施日	参加人数	備考
1	串間市	1月28日	11名	金谷小学校5・6年生
		2月21日	16名	金谷小学校3・4年生
2	諸塚村	3月28日	17名	児童（5歳～11歳）13名、社協スタッフ
3	都農町	3月16日	9名	役場職員

※ 諸塚村、都農町はオンラインで実施

3. 手話通訳者養成講座

(1) 実施会場（22 ページ別表1 参照）

県内の手話通訳者派遣事業の充実につなげるために別表1の地域において実施しましたが、新型コロナウイルス感染防止対策により休講が続き年度内に修了に必要な講座実施ができず修了者がいない会場、次年度に引き続き実施となる会場が出ました。

(2) 使用教材

手話通訳Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで下記の教材を使用して講座を実施しました。

- ① 手話通訳Ⅰ 「手話通訳Ⅰ ホップ ステップ ジャンプ」
- ② 手話通訳Ⅱ 「手話通訳Ⅱ ホップ ステップ ジャンプ」
- ③ 手話通訳Ⅲ 「手話通訳Ⅲ ホップ ステップ ジャンプ」
- ④ 講義編

(3) 養成時間 120 時間

実技編 手話通訳Ⅰ (48 時間)

手話通訳Ⅱ (45 時間)

手話通訳Ⅲ (15 時間)

講義編 12 時間

【各種研修会】

■ 養成講師研修会

講座実施に向けた指導内容、指導方法についての学習会を実施し、講座の充実につなげました。

(1) 手話通訳者養成講師研修会

期 日 令和4年2月27日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター(研修室)

オンラインにより実施しました。

参加者数 30名

(2) 現任手話通訳者研修会

宮崎県内で活動中の現任手話通訳者を対象に手話通訳の倫理や手話技術及び技能の向上を目的に研修会を開催しました。

期 日 令和3年11月14日(日)

対象者 宮崎県内で活動中の現任手話通訳者

実施方法 新型コロナウイルス感染防止対策のため ZOOM を利用して実施しました。

- ① 集団視聴
- ② 県立聴覚障害者センター
- ③ 地域集団視聴
- ④ 個人視聴

参加者数 25名

(3) 手話通訳者全国統一試験対策学習会

5月30日、9月5日の対策学習会は新型コロナウイルス感染防止対策により中止しました。

期 日 令和3年11月7日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター(交流ホール)

参加者数 16名

(4) 手話通訳者全国統一試験

期 日 令和3年12月4日(土)

会 場 県立聴覚障害者センター

受験者数 19名

合格者数 4名(令和4年3月1日結果発表)

長友千恵子(高鍋町) 堀友歌(西都市) 牧晃子(西都市) 東玲子(新富町)

(5) 手話通訳士養成研修会

期日	内容	参加人数
5月8日(土)～9日(日)	新型コロナウイルス感染防止対策により中止	
7月31日(土)	読み取り通訳試験対策	5名
8月1日(日)	聞き取り通訳試験対策	4名

(6) 手話通訳士試験

第32回手話通訳技能認定試験(令和4年1月31日発表)

宮崎県受験者 4人

合格者 1人 日高美沙妃(宮崎市)

【宮崎県手話奉仕員及び手話通訳者養成講座実績】 別表1

地域	会 場	実施日	時間・内容	手話講習会修了者数			
				奉仕員	通訳Ⅰ	通訳Ⅱ	通訳Ⅲ
延岡市	延岡 社会福祉センター	毎週火曜日	19:00-20:30	17		15	1
		4月～3月	奉仕員				
門川町	門川町総合福祉セ ンター	毎週火曜日	19:00-20:30	4			
		4月～3月	奉仕員				
日向市	日向市 総合福祉センター	毎週木曜日	19:00-21:00	市独自			感染拡大により修了が 次年度に持ち越し
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
西都市	西都市公民館	毎週金曜日	19:30-21:00	市独自			感染拡大により修了が 次年度に持ち越し
		6月～3月	通訳Ⅰ				
新富町	新富町 総合交流センター	毎週火曜日	19:30-21:30	1			
		4月～3月	奉仕員				
木城町	木城町 福祉センター	毎週木曜日	19:30-21:30	0			
		4月～3月	奉仕員				
川南町	川南町老人会館	毎週水曜日	19:30-21:00	1			
		4月～3月	奉仕員				
高鍋町	高鍋老人福祉会館	毎週火曜日	19:30-21:00	4			
		6月～3月	奉仕員				
都城市	都城市 総合社会福祉 センター	毎週火曜日	19:00-21:00	市独自	2		
		5月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
日南市	日南南別館 ボランティア室	毎週水曜日	19:00-21:00	4			
		4月～3月	奉仕員				
小林市	小林 社会福祉センター	毎週水曜日	19:00-21:00	市独自	3	4	
		4月～3月	通訳Ⅰ・通訳Ⅱ				
えびの 市	えびの市 文化センター	毎週火曜日	19:30-21:00	0			
		4月～3月	奉仕員				
国富・ 綾	国富町社会福祉 協議会	毎週金曜日	19:00-21:00	3			
		9月～3月	奉仕員				
合 計				34	5	19	1

2 要約筆記者養成・指導者研修事業

1. 目的

聴覚障害者、とりわけ中途失聴・難聴者の生活及び関連する福祉制度や権利擁護、対人援助等についての理解と認識を深めるとともに、難聴者等の多様なニーズに対応できる要約筆記を行うに必要な知識及び技術の習得することを目的に実施しました。

2. 要約筆記者養成カリキュラム時間数（前期・後期）

84時間以上：必修科目74時間＋選択必修科目10時間以上

必修科目74時間（講義44時間＋実技30時間）

選択必修科目28時間（講義10時間＋実技18時間）

3. 要約筆記者養成講座

要約筆記者養成カリキュラムに沿って講座を実施しました。

【1】日向会場（手書きコースを実施：前期）：日向市障がい者センターあいとぴあ
令和3年10月～令和4年3月 手書きコース 7名

【2】宮崎会場（手書きコース、パソコンコース：後期）：県立聴覚障害者センター
令和3年4月～令和4年1月 手書きコース 7名 パソコンコース 4名

4. 要約筆記者のための研修

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。

(1) 要約筆記者講師研修会

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月日	内 容	講 師	参加者数
8月8日（日）	共通の講義 手書きコース：第12講実技の検証	（特非）全要研 山岡千恵子氏	10名
	PCコース：第12講実技の検証	（特非）全要研 松井美智子氏	4名

(2) 要約筆記者ステップアップ研修会

要約筆記者に必要な技術、知識を習得するためにステップアップ研修会を開催し、本県、要約筆記者の充実を図ることを目的に下記の学習会を実施しました。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加者数
11月27日（土）	《共通》対人支援 事例検討をとおして	宇田川芳江氏	18名
11月28日（日）	手書きコース・PCコース 遠隔要約筆記について	松井美智子氏	8名
			10名
令和4年 3月12日（土）	《共通》要約筆記者のあり方 ～今、要約筆記者に求められること～	山岡千恵子氏	19名
令和4年 3月13日（日）	手書きコース：ノートテイクの対応と実践	長尾康子氏	8名
	PCコース：ノートテイクの対応と実践	森井美幸氏	13名

(3) 要約筆記体験会

期 日 令和3年10月10日(日)
会 場 日向市障がい者センターあいとぴあ
参加者 手書き 8名

(4) 全国統一要約筆記者認定試験対策学習会

表記試験対策として下記の学習会を実施しました。

【第1回】

期 日 令和4年1月23日(日)
会 場 ZOOMウェビナーを使ったオンライン研修
参加者 PC 2名

【第2回】

期 日 令和4年1月30日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター
参加者 手書き 5名 PC 4名

【第3回】

期 日 令和4年2月13日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター
参加者 手書き 6名 PC 4名

(5) 全国統一要約筆記者認定試験を下記のとおり実施しました。

期 日 令和4年2月20日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター
受験者 手書き：7名 パソコン：4名
合格者 手書き：4名 パソコン：0名

(6) 要約筆記者指導者養成研修会

「令和3年度要約筆記者指導者養成研修ステップアップコース」に県内の要約筆記者1名が基礎コースに、2名がスキルアップ研修にリモートで参加し、要約筆記者養成の目的や指導方法を学びました。

3 難聴者等に対するボランティア向け手話講座

1. 目的

手話を知らない難聴者・中途失聴者が、手話技術を習得することによって新たにコミュニケーションの手段を獲得し、社会参加を行えるよう支援することを目的に難聴者向けの手話講座を実施しました。

2. 対象者

身体障害者手帳の有無に関わらず手話を学びたい難聴者・中途失聴者またはその家族等を対象に実施しました。

3. 講座内容

日程 火曜日14:00~15:30 土曜日10:30~12:00

令和3年11月13日~令和4年3月15日

会場 県立聴覚障害者センター

※8月開講予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために延期しました。途中、1月~3月は休講しました。講座にパソコン要約筆記の協力をいただきました。

【難聴者向け手話講習会実績】

月	11月	12月	1月	3月	合計
難聴者	7	7	3	2	19
PC要約筆記	4	4	2	2	12
計	11	11	5	4	31

4. 講座指導講師の募集

難聴者・中途失聴者向けの手話講習会の指導を担う講師の募集を行い効果的な講座運営体制を計りました。

5. 講座指導講師の事前学習会の実施

難聴者・中途失聴者を対象とした指導に必要な指導法を講師間で事前学習を行い円滑な意義ある講座としました。

6. 難聴者向け手話体験交流会

【1】延岡会場

日時：令和4年3月6日（日）

会場：延岡市社会福祉センター

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止しました。

【2】都城会場

日時：令和4年3月27日（日）

会場：都城市社会福祉センター

参加者：12名

4 手話通訳者等派遣事業

事業所等が主催する行事に配置する手話通訳者及び要約筆記者の派遣を実施しました。

No.	関係機関		人数	備考
1	総合政策課	東京2020オリンピック聖火リレー・出発を祝するセレモニー（高千穂町）	2	手話通訳者2名
2	総合政策課	東京2020オリンピック聖火リレー・出発を祝するセレモニー（宮崎市）	2	手話通訳者2名
3	教育研修センター	県立学校5年経過者を対象にした学級経営や授業づくりに関する研修	2	手話通訳者2名
4	雇用労働政策課	令和3年度応募前ジュニアワーク(宮崎市)	1	手話通訳者1名
5	雇用労働政策課	令和3年度応募前ジュニアワーク(都城市)	1	手話通訳者1名
6	高校教育課	令和3年度宮崎県高等学校・中等教育学校(後期課程)教育課程研究協議会	2	手話通訳者2名
7	高校教育課	第43回宮崎県高等学校総合文化祭 総合開会式	2	手話通訳者2名
8	第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会	トークイベント「表現からつながる」	7	手話通訳者3名 要約筆記者4名
9	生涯学習課	第6回生涯学習実践研究交流会	2	手話通訳者2名
10	生涯学習課	令和23年度「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」九州・沖縄ブロック（オンライン研修）	4	手話通訳者4名
11	教育政策課	元気・夢応援プロジェクト	2	手話通訳者2名
12	国民スポーツ大会準備課	国スポ・障スポ開催に向けた陸上競技場、体育館及びプール設計の検討状況に係る説明会	2	手話通訳者2名
合 計			29名	

※キャンセル、コロナによる催事中止が6件ありました。

5 手話通訳者及び要約筆記者の健康に関する相談対応事業

1. 目的

本県の聴覚障害者の社会参加を支える手話通訳者・要約筆記者の健康と安全を確保することを目的に下記の事業を行いました。

2. 事業内容

(1) 手話通訳者・要約筆記者に対する特殊検診実施

① 受診状況

検診日	曜日	手話通訳者	要約筆記者	受診者数
3月19日	土曜日	3	1	4
3月26日	土曜日	3		3
3月27日	日曜日	6		6
		12	1	13

② 特殊検診医師

獅子目整形外科 獅子目亨医師

(2) 特殊検診実施の概要

① 自覚症状の提示

受診者の多くが日常的な体調に自覚症状がある。

手話通訳、要約筆記の活動件数に関わらず凝りや痛みがある。自分の体調管理を行ったうえで活動にあたることが求められる。

② ストレッチ実施の促進

受診者の多くが活動前後のストレッチを行っていない。活動しやすい体調管理の多面も生活の中でストレッチを励行が求められる。

(3) 医療機関との連携

効果的な特殊検診実施に向けて医療機関（獅子目整形外科 獅子目亨医師）とメールおよび文書にて効果的な特殊検診実施のために下記の打ち合わせを行いました。

打合せ内容

- 1) 要検診対象者の振り分け基準
- 2) 特殊検診実施内容
- 3) 検診日時

手話通訳設置事業報告書

1. 目的

身体障がい者福祉に理解と熱意を有する手話技術を習得した手話通訳者を設置し、聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行い、もってその福祉の増進を図ることを目的として手話通訳設置事業を実施しました。

2. 実施の方法

専任者を採用し、社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会事務所に常駐させ、下記の内容の業務に当たりました。

3. 業務内容は次のとおり。

- (1) 県関係の手話通訳全般
- (2) 意志疎通支援事業の推進と指導
- (3) 関係機関・聴覚障がい者等からの依頼に応える手話通訳および手話通訳者
- (4) 手話関係事業の事務整理・連絡
- (5) 聴覚障がい者等の支援等についての相談等を関係機関に伝達するための仲介
- (6) 民生委員、医療機関等、日常生活における相談、支援等を行う機関からの依頼に応える手話通訳
- (7) 遠隔手話サービスの利用促進に向けた普及啓発

【遠隔手話サービス体験会を下記のとおり実施しました】

【1】日時：11月23日（祝・火）

会場：宮崎県立聴覚障害者センター

参加者：約70人（聴覚障害者、手話関係者）

内容：宮崎県立聴覚障害者センター内の他の会場とオンラインによる遠隔手話サービスを体験しました。

【2】日時：令和4年2月24日（木）

会場：高千穂町・延岡市社会福祉センター

参加者：聴覚障害者、手話関係者、高千穂役場職員、西臼杵福祉事務所職員

内容：会場にいる聴覚障害者と宮崎県立聴覚障害者センターにいるオペレーターを介してオンラインによる手話通訳を体験しました。

4. 通訳実績

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1 職業・労働	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
2 手続き	0	1	2	1	0	2	0	0	2	1	1	1	11
3 縁談・結婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 家族関係	0	1	1	1	2	1	1	1	0	0	0	2	10
5 育児・保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 住宅・住居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 保健・医療	0	2	2	1	0	0	1	0	1	2	0	0	9
9 集会	0	0	0	1	1	0	2	1	0	0	0	1	6
10 選挙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 警察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 裁判	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13 会議	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
14 講習会	3	1	6	3	3	3	6	6	3	4	5	6	49
15 その他	6	0	1	0	3	2	2	0	5	5	3	4	31
計	9	5	12	8	11	8	12	9	11	12	9	14	120

盲ろう者向け通訳・介助員養成・指導者研修事業実績報告

1. 盲ろう者向け通訳、介助員養成講座

盲ろう者向け通訳・介助員養成カリキュラムをもとに本県の盲ろう者の社会参加促進のための効果的な事業を下記通り実施した。

(1) 日付 2月26日(土) 3月6日(日) 3月12日(土)
3月13日(日) 3月26日(土)

(2) 会場 県立聴覚障害センターの研修室をホストとして、zoomによるリモート研修で行った。

(3) 修了者 6名(全員リモートにて受講)

(4) パソコン2台とタブレットをzoomにつなぎ、講師用のパソコンとテレビを準備して研修設備を整えたが、講師の要望で廊下や階段で説明することがあり、携帯端末を利用して講義をすすめることもあった。

2. 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会受講者推薦

Web会議サービス「Zoom」を利用したオンライン研修として実施されました。

(1) 日程：2022年1月22日(土) 1月23日(日)
1月29日(土) 2月27日(日)

(2) 場所：自宅にて受講

(3) 受講者：押川恵子氏

令和3年度 県立高等学校生活支援員配置事業 実績報告

1、目的

県立高等学校に在籍する聴覚に障がいのある生徒が、教育課程を円滑に履修できるように必要に応じて支援を行う生活支援員を配置し、教育の機会均等を保障する。

2、業務委託先契約先並びに対象者（聴覚に障がいのある生徒）

- ・宮崎県立宮崎北高等学校 1名（3年生）
- ・宮崎県立宮崎大宮高等学校 1名（2年生）

3、支援実績

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
宮崎北	人員	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	1	0	49
	日数	15	15	17	14	8	16	17	16	18	11	1	0	148
	時間	42.50	75.00	83.25	60.25	28.50	79.25	85.25	70.25	87.00	33.50	1.50	0	646.25
大宮	人員	6	6	6	6	6	6	7	6	6	6	6	6	73
	日数	15	16	16	18	8	15	19	17	17	13	10	11	175
	時間	68.50	89.00	97.50	75.50	33.50	86.25	106.25	91.25	83.75	61.75	44.75	44.75	882.75

年間支援限度時間：900時間

宮崎北高校では、5名の支援員をメインに1日2名の支援員配置で1名が3限～5限を担当した。ただ、HR（ホームルーム）・体育・美術・英語は支援不要でしたので支援時間には余裕が持てた。

大宮高校では、6名の支援員をメインに1日3名の支援員配置で1名が2限～4限を担当した。

4、関係者会議

- ・宮崎北高校 1回（4月7日）
- ・宮崎大宮高校 1回（4月7日）

コロナ禍でしたが先生方との顔合わせの時間を設けていただき、支援員の役割を説明することができた。

令和3年度宮崎市 情報保障・コミュニケーション支援事業報告

1. 宮崎市手話通訳者・要約筆記者派遣事業

【手話通訳者派遣】

1. 目的

聴覚障がい者等が日常生活及び社会生活において手話通訳を必要とする際に、手話通訳者を派遣しコミュニケーションの仲介を行うことにより、聴覚障がい者の社会参加促進及び福祉の向上を目指すことを目的として手話通訳者派遣を実施しました。

2. 登録手話通訳者及び要約筆記者、講師等研修会

※一堂に会す他、新型コロナウイルス感染防止対策のため、ZOOM を利用して実施した。

期 日 10月24日(日) 10時00分～12時00分

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 「当事者のニーズに対応する派遣制度を共に考える」

「聴覚障がい者の意見」社会福祉法人 宮崎県聴覚障害者協会 手話通訳対策部長 前山玲子氏

「中途失聴難聴者の意見」 NPO 法人 宮崎県中途失聴難聴者協会 理事長 高橋由利子氏

「手話通訳者、要約筆記者派遣事業の現状と課題」 県立聴覚障害者センター

参加者 42名(会場14名 オンライン28名)

登録手話通訳者、要約筆記者学習会

期 日 令和4年2月6日(日) 10時00分～12時00分

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

「派遣事業の現状と課題」

「派遣事業に係る登録手話通訳者、要約筆記者の業務について」

① 派遣の流れ

② 派遣に係る提出書類について

参加者 18名(会場1名 オンライン17名)

3. 運営委員会

期 日 令和3年6月25日(金) 18:30～

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 令和2年度活動報告・収支決算について

令和3年度活動計画・収支予算について

出席者 16名

4. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣実績	61	55	82	87	59	56	69	62	60	37	58	55	741	61.8
通訳者	15	12	16	18	16	13	16	16	16	10	16	17	181	15.1
対象者数	32	29	37	47	34	33	35	34	32	20	30	30	393	32.8
派遣時間	108.0	85.5	122.5	106.5	81.0	98.0	94.0	90.5	92.0	51.5	90.0	77.0	1096.5	91.4

- ①年間の通訳派遣件数は 741 件で、毎月の平均は 61.8 件。昨年度の派遣件数は 686 件で増えました。利用者については、年間 393 名で月平均は 32.8 名となっており、昨年度（28.8 名）と少し増えました。
- ②派遣時間は月平均 91.4 時間となっており、月平均 15.1 名の通訳者を派遣しました。

5. 派遣内容

集会・講演	3	冠婚・葬祭	6	学校・教育	18	介護	5
会議	12	司法・警察	10	育児・保育	11	その他	39
住宅・住居	2	医療・保健	576	家族関係	2		
スポーツ・レクリエーション	1	職業・労働	20	手続	36	合計	741

※派遣の内容は、「医療・保健」が 7 割強を占め、次いで「手続き」、「職業・労働」、「学校・教育」となりました。

6. まとめ

手話通訳者統一試験合格者 1 名が新たに派遣登録を行い、3月31日現在の登録手話通訳者は 41 名となっています。派遣については、利用者の希望に添い通訳者を選任していますが、通訳者に負担のかからないようコーディネートを行いました。利用者の高齢化も進み自宅での生活が多くなっています。できるだけ派遣を利用しながら社会参加が出来るよう配慮したいと思います。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、三密を避けるよう呼びかけや通訳者等へのマスク着用について利用者へ理解を求めました。

通訳依頼にとどまらず相談につながるケースも多くなっています。

相談内容も専門的な相談もあり、手話通訳者の学習保障が重要になっています。

昼間対応できる登録手話通訳者が少ないことは喫緊の課題であり、手話通訳者養成事業を通じて確実な拡大につなげます。

【要約筆記者派遣事業】

1. 目的

聴覚障がい者等が日常生活及び社会生活において要約筆記を必要とする際に、要約筆記者を派遣しコミュニケーションの仲介を行うことにより、聴覚障がい者の社会参加促進及び福祉の向上を目指すことを目的として要約筆記者派遣を実施しました。

2. 登録手話通訳者及び要約筆記者、講師等研修会

※一堂に会す他、新型コロナウイルス感染防止対策のため、ZOOM を利用して実施した。

期 日 10月24日(日) 10時00分～12時00分

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 「当事者のニーズに対応する派遣制度を共に考える」

「聴覚障がい者の意見」社会福祉法人 宮崎県聴覚障害者協会 手話通訳対策部長 前山玲子氏

「中途失聴難聴者の意見」 NPO 法人 宮崎県中途失聴難聴者協会 理事長 高橋由利子氏

「手話通訳者、要約筆記者派遣事業の現状と課題」 県立聴覚障害者センター

参加者 11名(会場7名 オンライン4名)

登録手話通訳者、要約筆記者学習会

期 日 令和4年2月6日(日) 10時00分～12時00分

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

「派遣事業の現状と課題」

「派遣事業に係る登録手話通訳者、要約筆記者の業務について」

① 派遣の流れ

② 派遣に係る提出書類について

参加者 8名(会場0名 オンライン8名)

3. 運営委員会

期 日 令和3年6月25日(金) 18:30～

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 令和2年度活動報告・収支決算について

令和3年度活動計画・収支予算について

出席者 16名

4. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣実績	3	2	3	11	5	2	4	4	3	1	5	7	50	1.6
通訳者	1	1	3	7	3	2	2	2	2	1	3	4	31	0.9
対象者数	2	2	3	10	5	2	3	3	3	1	3	3	40	1.3
派遣時間	5.0	3.5	3.0	9.0	4.5	3.0	6.0	8.0	2.0	1.5	6.0	7.5	59.0	2.5

①年間の要約筆記者派遣件数は50件で、毎月の平均は1.6件。昨年度の派遣件数は83件で激減しました。利用者は、年間40名で月平均は1.3名となっており、昨年度(3.9名)から減りました。

②派遣時間は月平均2.5時間となっており、月平均0.9名の要約筆記者を派遣しました。

5. 派遣内容

集会・講演	0	冠婚・葬祭	0	学校・教育	0	介護	0
会議	0	司法・警察	0	育児・保育	0	その他	1
住宅・住居	0	医療・保健	47	家族関係	0		
ｽﾎﾟｰﾂ・レｸﾘｰｼﾞｮﾝ	0	職業・労働	1	手続	1	合計	50

※派遣の内容は、「医療・保健」が9割、「職業・労働」、「手続」、「その他」がそれぞれ1件でした。

6. まとめ

要約筆記者統一試験合格者等0名で3月31日現在の登録要約筆記者は26名となっています。また、新型コロナウイルス感染防止のため、三密を避けるよう席を1つずつ開けて座るなど利用者へ理解を求めました。

要約筆記の派遣件数はまだ少なく、難聴者自身が要約筆記を利用することをしません。要約筆記が付くことでより情報が正確に伝わることを理解してほしいです。その為に、利用者の経験をお話する場を設けるなど、広報活動に取り組みます。

2. 手話奉仕員等養成事業実績報告

1. 目的

宮崎市手話奉仕員等養成事業実施要綱に基づき下記の内容で手話奉仕員及び手話通訳者、手話通訳士の養成講座を実施し、聴覚障がい者等の福祉の増進に資することを目的とし実施しました。

2. 運営委員会設置

「宮崎市手話奉仕員等養成事業に関する運営委員会」を設置し、宮崎市における手話奉仕員等養成事業の効果的な運営を図った。

期 日 令和3年3月23日（火）

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 8名

3. 手話奉仕員養成講座

(1) 実施会場 別表1 参照

- ① 宮崎市総合福祉保健センター
- ② 宮崎市清武総合福祉センター
- ③ 県立聴覚障害者センター

(2) 使用教材

『新手話教室入門』と『手話教室基礎』の内容が1冊に盛り込まれた厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応の「手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう」をテキストとして使用し実施しました。

(3) 養成時間 70時間

実技編 入門課程（27時間）基礎課程（33時間）

講義編 10時間

(4) 養成講師研修会

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から研修会を中止しました。

4. 手話通訳者養成講座

(1) 実施会場 別表1 参照

- ① 宮崎市総合福祉保健センター
- ② 県立聴覚障害者センター

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開講を延期しました。

(2) 使用教材

手話通訳Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで下記の教材を使用して講座を実施しました。

- ① 手話通訳Ⅰ 「手話通訳Ⅰ ホップ ステップ ジャンプ」
- ② 手話通訳Ⅱ 「手話通訳Ⅱ ホップ ステップ ジャンプ」
- ③ 手話通訳Ⅲ 「手話通訳Ⅲ ホップ ステップ ジャンプ」
- ④ 講義編

- (3) 養成時間 120 時間
 実技編 手話通訳Ⅰ（48 時間） 手話通訳Ⅱ（45 時間） 手話通訳Ⅲ（15 時間）
 講義編 12 時間
- (4) 養成講師研修会
 講座実施に向けた指導内容、指導方法についての学習会を実施し、講座の充実につなげました。
- 【1】手話通訳者Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ養成講師研修会
 期 日 令和4年2月27日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター（研修室）
 オンラインにより実施しました。
 講 師 公益社団法人香川県聴覚障害者協会 理事長 近藤龍治氏
 参加者数 30名
- (5) 現任手話通訳者研修会
 期 日 令和3年11月14日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター
 講 師 宮澤典子氏
 参加者数 25名（会場参加12名 個人視聴8名 延岡集団視聴5名）
 ※会場参加とZOOMを使用したリモート参加とのハイブリット型で実施しました。
- (6) 手話通訳者全国統一試験対策学習会
 【第1回】
 期 日 令和3年5月30日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター
 新型コロナウイルス感染防止対策により中止しました。
 【第2回】
 期 日 令和3年9月5日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター
 新型コロナウイルス感染防止対策により中止しました。資料郵送しました。
 【第3回】
 期 日 令和3年11月7日（日）
 会 場 県立聴覚障害者センター
 参加者：16名
- (7) 手話通訳者全国統一試験
 期 日 令和3年12月4日（土）
 会 場 県立聴覚障害者センター
 受験者数 19名
 合格者数 4名（令和4年3月1日結果発表）
 長友千恵子（高鍋町）堀友歌（西都市）牧晃子（西都市）東玲子（新富町）
- (8) 手話通訳士養成講座

期日	内容	参加人数
5月8日（土）～9日（日）	新型コロナウイルス感染防止対策により中止	
7月31日（土）	読み取り通訳試験対策	5名
8月1日（日）	聞き取り通訳試験対策	4名

(9) 第32回手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）

【学科試験】

期 日 令和3年5月30日（日）

会 場 新型コロナウイルス感染防止対策のため、全国5箇所の会場に分散。

【実技試験】

期 日 令和3年9月26日（日）

会 場 新型コロナウイルス感染防止対策のため、全国5箇所の会場に分散。

合格者 日高美沙紀（宮崎市）

【宮崎市手話奉仕員及び手話通訳者養成講座実績】 別表1

会 場	実施日	時間・内容	修了者数			
			奉仕員	通訳Ⅰ	通訳Ⅱ	通訳Ⅲ
宮崎市総合福祉保健センター	毎週火曜日	19:00-21:00	17			
	9月～3月	奉仕員				
	毎週月曜日	19:00-21:00			12	
	6月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
県立聴覚障害者センター	毎週木曜日	13:30-15:30	4			
	9月～3月	奉仕員				
	毎週月・金曜日	13:30-15:30			3	
	6月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
清武総合福祉センター	毎週木曜日	19:00-21:00	10			
	9月～3月	奉仕員				
	合 計		31		15	

3 要約筆記者養成事業実績報告

1. 目的

聴覚障害者、とりわけ中途失聴・難聴者の生活及び関連する福祉制度や権利擁護、対人援助等についての理解と認識を深めるとともに、難聴者等の多様なニーズに対応できる要約筆記を行うに必要な知識及び技術の習得することを目的に実施しました。

2. 要約筆記者養成カリキュラム時間数（前期・後期）

84時間以上：必修科目74時間＋選択必修科目10時間以上

必修科目74時間（講義44時間＋実技30時間）

選択必修科目28時間（講義10時間＋実技18時間）

3. 要約筆記者養成講座

要約筆記者養成カリキュラムに沿って講座を実施しました。

宮崎会場（手書きコース、パソコンコース：後期）：県立聴覚障害者センター

令和3年4月～令和4年1月 手書きコース 7名 パソコンコース 4名

4. 要約筆記者のための研修

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。

(1) 要約筆記者講師研修会

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加者数
8月8日（日）	共通の講義 手書きコース：第12講実技の検証	（特非）全要研 山岡千恵子氏	10名
	PCコース：第12講実技の検証	（特非）全要研 松井美智子氏	4名

(2) 要約筆記者ステップアップ研修会

要約筆記者に必要な技術、知識を習得するためにステップアップ研修会を開催し、本県、要約筆記者の充実を図ることを目的に下記の学習会を実施しました。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにZOOMウェビナーを使用したリモート研修を実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加者数
11月27日（土）	《共通》対人支援 事例検討をとおして	宇田川芳江氏	18名
11月28日（日）	手書きコース・PCコース 遠隔要約筆記について	松井美智子氏	8名
			10名
令和4年 3月12日（土）	《共通》要約筆記者のあり方 ～今、要約筆記者に求められること～	山岡千恵子氏	19名
令和4年 3月13日（日）	手書きコース：ノートテイクの対応と実践	長尾康子氏	8名
	PCコース：ノートテイクの対応と実践	森井美幸氏	13名

(3) 要約筆記体験会

期 日 令和3年10月10日(日)
会 場 日向市障がい者センターあいとぴあ
参加者 手書き 8名

(4) 全国統一要約筆記者認定試験対策学習会

表記試験対策として下記の学習会を実施しました。

【第1回】

期 日 令和4年1月23日(日)
会 場 ZOOMウェビナーを使ったオンライン研修
参加者 PC 2名

【第2回】

期 日 令和4年1月30日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター
参加者 手書き 5名 PC 4名

【第3回】

期 日 令和4年2月13日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター
参加者 手書き 6名 PC 4名

(5) 全国統一要約筆記者認定試験を下記のとおり実施しました。

期 日 令和4年2月20日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター
受験者 手書き：7名 パソコン：4名
合格者 手書き：4名 パソコン：0名

(6) 要約筆記者指導者養成研修会

「令和3年度要約筆記者指導者養成研修ステップアップコース」に県内の要約筆記者1名が基礎コースに、2名がスキルアップ研修にリモートで参加し、要約筆記者養成の目的や指導方法を学びました。

4 手話ビデオ等作製事業実績報告

1. 作品内容

	題 名	本数	分	取扱	複製数	備 考
1	市広報「みやざき」手話ビデオ 4 月 (No.296)	1	50	送付・貸出	46	VHS5本 DVD41本
2	市広報「みやざき」手話ビデオ 5 月 (No.297)	1	42	送付・貸出	46	VHS5本 DVD41本
3	市広報「みやざき」手話ビデオ 6 月 (No.298)	1	50	送付・貸出	46	VHS5本 DVD41本
4	市広報「みやざき」手話ビデオ 7 月 (No.299)	1	50	送付・貸出	46	VHS5本 DVD41本
5	市広報「みやざき」手話ビデオ 8 月 (No.300)	1	44	送付・貸出	46	VHS5本 DVD41本
6	市広報「みやざき」手話ビデオ 9 月 (No.301)	1	51	送付・貸出	46	VHS5本 DVD41本
7	市広報「みやざき」手話ビデオ 10 月 (No.302)	1	40	送付・貸出	46	VHS5本 DVD41本
8	市広報「みやざき」手話ビデオ 11 月 (No.303)	1	49	送付・貸出	46	VHS5本 DVD41本
9	市広報「みやざき」手話ビデオ 12 月 (No.304)	1	43	送付・貸出	46	VHS5本 DVD41本
10	市広報「みやざき」手話ビデオ 1 月 (No.305)	1	45	送付・貸出	46	VHS5本 DVD41本
11	市広報「みやざき」手話ビデオ 2 月 (No.306)	1	45	送付・貸出	46	VHS5本 DVD41本
12	市広報「みやざき」手話ビデオ 3 月 (No.307)	1	46	送付・貸出	44	VHS5本 DVD39本
	合計	12	555		550	

2. 貸出状況

配布先	配布数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
※宮崎市関係	(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市社会福祉協議会	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市聴覚障害者協会	(4)	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	41
県立聴覚障害者センター	(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	(17)	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	41

※宮崎市関係（市障がい福祉課、佐土原総合支所、田野総合支所、高岡総合支所、清武総合支所
市立図書館、市佐土原図書館、田野児童センター、穆園館、清武文化会館）

3. 送付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
送付数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	27	346

4. 出演者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出演者数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72

5. その他の取り組み

- ・毎月、出演者と手話表現に関する打合せを行った。

6. 成果と課題

- ・「市広報みやざき」内の3項目～5項目を手話ビデオにして作成することができた。
- ・インターネット配信を見据えた調査と検討を実施して市に報告することができた。
- ・完成時期が遅れがちなので可能な限り早く完成させたい。

5 手話通訳者設置事業

1. 目的

身体障がい者の福祉に理解と熱意を有する手話技術を習得した手話通訳士を設置し、聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者の家庭及び社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行い、もって福祉の増進を図りました目的として実施しました。

2. 対象者

宮崎市在住の聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者

3. 事業内容

- (1) 聴覚障がい者等が来庁した場合の庁内用務に係る手話通訳業務
- (2) 聴覚障がい者等が来庁した場合の庁内用務に係る遠隔による手話通訳業務
- (3) 聴覚障がい者等の更生援護についての相談等に関し、その要件の主旨を援護機関に伝達するための仲介役としての業務
- (4) 日常生活上における聴覚障がい者等の援護に関する相談、指導等に関し、宮崎市基幹相談センター及び宮崎市社会福祉協議会からあの要請に基づく手話通訳業務
- (5) その他市民へ向けた情報発信に係る庁内における手話通訳業務

4. 実績

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1 職業・労働	12	11	6	6	6	2	10	5	1	1	0	6	66
2 手続き	10	15	20	15	9	2	11	6	12	11	39	8	158
3 生活面1	14	15	28	28	37	29	29	15	17	15	22	15	264
4 家族関係	5	0	1	3	2	0	0	3	0	5	8	2	29
5 育児・保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 住宅・住居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 保健・医療	0	15	10	7	0	3	0	0	0	0	3	1	39
9 集会・会議	4	2	2	3	2	1	3	2	3	2	0	3	27
10 選挙	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0	0	5
11 警察・裁判	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
12 講習会(手話)	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
13 友人関係	3	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	2	9
14 冠婚葬祭	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
15 その他	11	4	25	13	13	12	14	0	11	27	22	29	181
計	61	62	92	75	69	50	71	36	46	64	95	66	787

令和3年度市町村手話通訳者・要約筆記派遣事業実績

県内26市町村のうち18市町村(4市11町3村)と「手話通訳者等及び要約筆記者派遣事業」の委託契約

市町村名		年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
宮崎市	手話	令和3年度		61	55	82	87	59	56	69	62	60	37	58	55	741	
		令和2年度		43	37	55	66	57	49	86	56	52	52	68	65	686	
	要約	令和3年度		3	2	3	11	5	2	4	4	3	1	5	7	50	
		令和2年度		0	0	1	1	1	4	2	1	3	1	1	4	19	
西都市	手話	令和3年度		1	1	2	4	2	0	0	0	1	2	2	1	16	
		令和2年度		0	1	1	0	1	0	1	3	2	1	4	3	17	
日南市	手話	令和3年度		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
		令和2年度		0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
串間市	手話	令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
西諸県郡	高原町	手話	令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東諸県郡	国富町	要約	令和3年度		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	14
			令和2年度		2	1	3	1	2	1	1	1	1	2	1	1	17
		手話	令和3年度		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
			令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	綾町	手話	令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
			令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児湯郡	高鍋町	手話	令和3年度		0	0	2	1	3	2	0	2	1	2	1	1	15
			令和2年度		0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
		要約	令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新富町	手話	令和3年度		0	0	6	2	0	0	0	1	0	3	0	0	12
			令和2年度		0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
	西米良村	手話	令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木城町	手話	令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	都農町	手話	令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東臼杵郡	美郷町	手話	令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	椎葉村	手話	令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	諸塚村	手話	令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
西臼杵郡	高千穂町	手話	令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日之影町	手話	令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	五ヶ瀬町	手話	令和3年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	手話	令和3年度		62	56	92	94	64	59	70	65	63	44	61	57	787	
		令和2年度		43	38	57	70	59	49	87	60	54	53	73	69	712	
	要約	令和3年度		5	3	4	12	6	3	5	5	4	2	6	9	64	
		令和2年度		2	1	4	3	4	5	3	2	4	3	2	6	39	
合計	手話・要約	令和3年度		67	59	96	106	70	62	75	70	67	46	67	66	851	
		令和2年度		45	39	61	73	63	54	90	62	58	56	75	75	751	

当協会と契約外の市町村手話通訳者・要約筆記派遣事業実績

市町村名	年度		計	市町村名	年度		計	市町村名	年度		計	
延岡市	手話	令和3年度	256	日向市	令和3年度	手話	236	北諸県郡	三股町	令和3年度	手話	2
		令和2年度	292		令和2年度	154	令和2年度			0		
	要約	令和3年度	18		令和3年度	要約	8	東臼杵郡	門川町	令和3年度	手話	2
		令和2年度	12		令和2年度	0	令和2年度			1		
都城市	手話	令和3年度	362	小林市	令和3年度	手話	103	児湯郡	川南町	令和3年度	手話	0
		令和2年度	336		令和2年度	60	令和2年度			0		
	要約	令和3年度	0	えびの市	令和3年度	手話	109					
		令和2年度	0		令和2年度	105						

通訳者派遣事業実績報告書

企業・団体等からの依頼による手話通訳者・要約筆記者の派遣実績

1. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手話	21	17	11	5	26	11	11	9	9	21	17	7	165
活動人数	37	30	25	21	45	26	34	29	12	29	25	13	326
派遣時間	16.1	13.8	13.4	13.6	24.1	22.5	18.2	18.2	7.8	10.7	12.1	5.3	175.8
要約筆記	2		3	4	4	5	1	1	1				21
活動人数	8		7	13	11	19	5	4	3				70
派遣時間	2.7		1.7	2.5	9.6	17.1	3.3	2.0	4.0				42.9
合計	21	17	14	9	30	16	12	10	10	21	17	7	186
キャンセル				3	1		2			1			7

2. 派遣内容

項 目	累計	項 目	累計	項 目	累計	項 目	累計
集会・講演	143	司法・警察	0	冠婚・葬祭	2	その他	7
会 議	7	医療・保健	25	育児・保育	0		
住宅・住居	0	職業・労働	2	家族関係	0		
入 力 - ツ リI-ソソ	0	学校・教育	0	手 続	0	合 計	186

3. 知事会見、宮崎市長会見の他、国文祭・芸文祭みやざき2020 関連行事へ派遣しました。

No.	内 容	人数	備考
1	国民文化祭・障害者芸術文化祭関連行事（15回）	71名	手話通訳者35名 要約筆記者36名
2	知事定例記者会見（12回）	24名	手話通訳者24名
3	知事緊急記者会見（51回）	101名	手話通訳者101名
4	新型コロナ関連知事メッセージCM（4回）	4名	手話通訳者4名
5	宮崎市長定例記者会見（12回）	12名	手話通訳者12名
6	宮崎市長緊急記者会見（9回）	14名	手話通訳者14名
合 計		226名	

2021（令和3）年度 全国手話検定試験事業（自主事業）

1、全国手話検定試験面接委員研修

8月8日（日）に実施予定でしたが、新型コロナ感染拡大のため中止としました。

2、第16回全国手話検定試験

（1）全国手話検定試験学習会（受験者対象）

8月29日（日）に実施予定でしたが、新型コロナ感染拡大のため中止とし、個別対応しました。

（2）全国手話検定試験説明会（面接委員・要員）

9月12日（日）に実施予定でしたが、新型コロナ感染拡大のため中止とし、担当者に説明資料を送付し、個別に対応しました。

（3）第16回全国手話検定試験の実施

新型コロナウイルス感染防止対策のため延岡会場、都城会場は中止し、宮崎会場のみの実施としました。

会場	県立聴覚障害者センター						
級	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	計
期日	10月9日（土）		10月10日（日）		10月16日（土）		
申込数	33	22	41	8	6	6	116
受験者数	33	21	36	8	6	5	109

3、「インターネットで受験する」第16回全国手話検定試験

（1）ZOOMの取り扱い説明

担当者に説明資料を送付し、個別に対応しました。

（2）「インターネットで受験する」第16回全国手話検定試験の実施

会場	県立聴覚障害者センター			
級	準1級	4級	3級	計
期日	2月11日（金・祝）	2月13日（日）	2月23日（水・祝）	
申込数	20	20	20	60
受験者数	19	17	20	56

2021（令和3）年度 図書販売等事業報告

1) 目的

聴覚障害者、手話通訳者、手話学習者等に手話や聴覚障害についてより理解していただくために、全日本ろうあ連盟及び全国手話研修センターが発行している手話イラストやDVD等で構成された図書等の販売及び情報提供を行った。

2) 販売結果

2021年度の図書等の仕入・販売金額については下記のとおり。昨年に引き続きコロナ禍の影響を大きく受けている。また、宮崎市の手話奉仕員養成講座の募集が行われなかった影響でテキストの購入が例年以上に少なく、販売数が大きく落ち込んだ。

総販売数は689冊となり、2019年度の1,377冊から2分の1となっている。

3) 課題

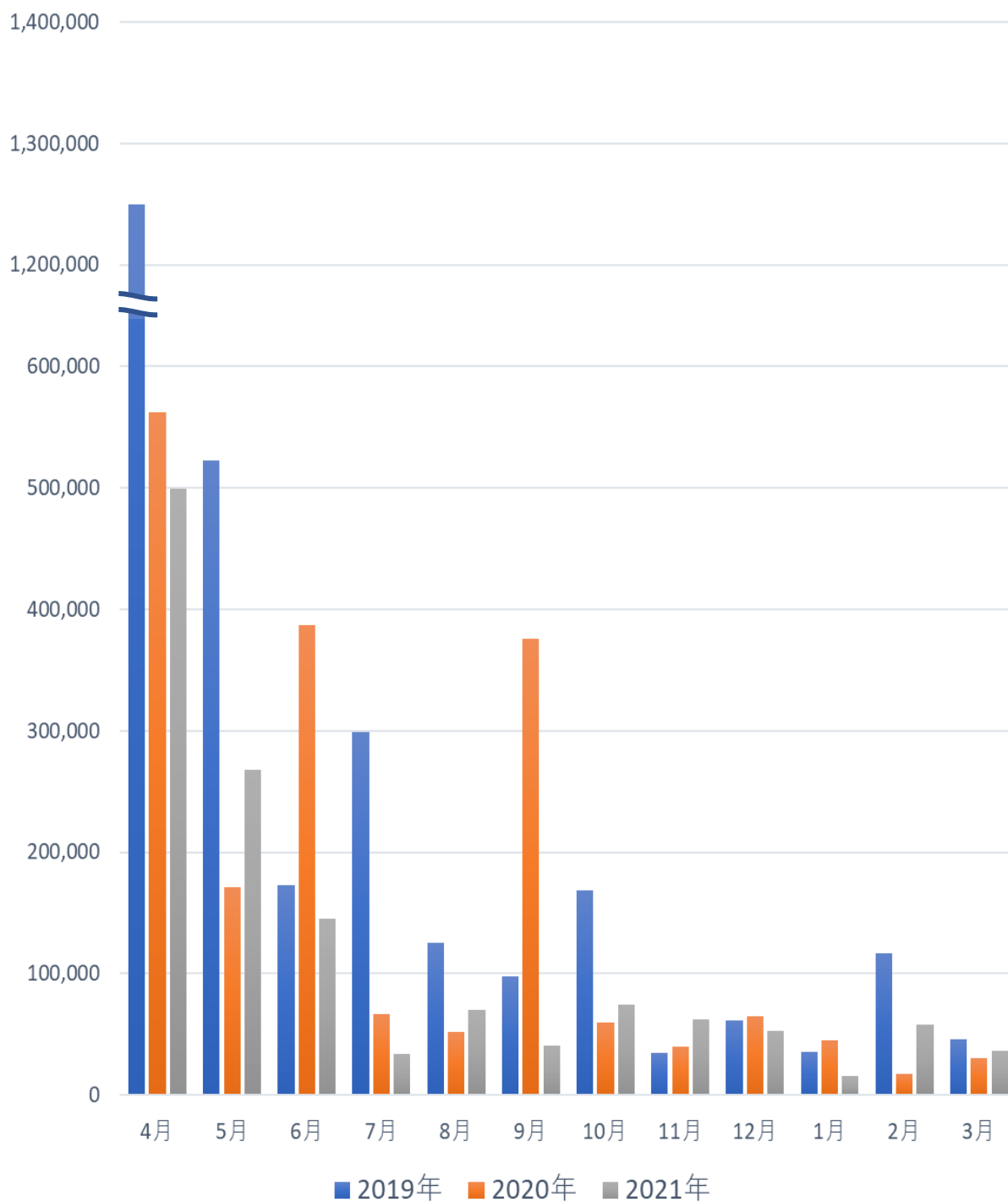
2021年度はこれまでにない厳しい収益実績となったが、2022年度は各地区で手話奉仕員養成講座等の募集が行われ、今年5月14日時点で各種テキストの申し込みが603冊（専門学校等含む）あったことから、ある程度の収益改善が期待される。

ただしコロナ禍の影響は引き続き受けていることから、2022年度図書販売等事業計画のとおり、聴覚障がい者生活サポート事業と連携してオンライン手話講座等の新たな取り組みを行っていくほか、様々な機会において書籍等の紹介を積極的に行っていくことが求められる。

2021年度 月別仕入・販売金額表

	仕 入		販 売	
	数量（冊）	金額（円）	数量（冊）	金額（円）
4月	306	563,644	188	499,696
5月	21	32,675	172	267,685
6月	88	139,584	63	145,310
7月	0	0	27	34,133
8月	23	17,089	46	70,539
9月	76	128,845	18	40,715
10月	25	48,015	45	74,065
11月	41	47,318	46	62,080
12月	48	52,420	31	52,985
1月	20	23,930	11	15,992
2月	20	24,487	21	57,721
3月	28	21,280	21	36,433
合計	696	1,099,287	689	1,357,354

年度別図書販売実績（円）



コロナ禍前の2019年度と比較すると、4月～6月時点で100万円近くの収益減少となっている。（他の月も、2019年度と比較すると収益が少ない状況）

図書販売事業の収益減少は、そのまま県協会活動の活力減少につながるため、収益改善に向けて引き続き取り組んでいく。

2021 年度苦情解決体制の整備に伴う「第三者委員」の報告

2021 年度における社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会及び県立聴覚障害者センター運営等に関する苦情の受付は 1 件もありませんでした。

その理由は、利用施設であり、入所施設のような人権、自己負担等の利害に関わるケースがないためと考えられます。また、センターでは年に 1 回満足度調査を実施し、利用者からいただいたご意見に対して出来る範囲で対応しているところです。今後も適切な福祉サービスの充実に努めていきます。

2022 年 3 月 31 日

社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
理事長 堀田 享志